

大切なことは、読書を通じて、自分のそれまで持っていた考えや生き方を振り返って吟味し、さらには、自分の生き方を見直すということです。

A. **大切なことは、DO することです。**

全体を見て、「～ことは、…ということです」を生かし、直訳的に、

- **S is that (S)(V) 「S は(S)(V)ということだ」**

の **S** に **what 節** を入れることもできますが、ここでは、全体的に「大切なこと」について述べているとイメージし、それを述語で直接表現するために、中心となる述語を、

- **it is important to DO 「DO することは大切だ」**

にしたいと思います。

(1) **it is important to DO**

B. 読書を通じて、自分のそれまで持っていた考えや生き方を振り返って吟味し、さらには、自分の生き方を見直す

「大切な行為」である DO には 2 つの行為が入ります。「自分のそれまで持っていた考えや生き方を振り返って吟味する」と「自分の生き方を見直す」です。それぞれを訳出して、and で結び、DO に入れていきます。

(a) 自分のそれまで持っていた考えや生き方を振り返って吟味する

DO を見つけて、英語にすることが目標です。この部分の中心の述語に着目すると、「振り返って吟味する」の部分から着手することになりました。

a. 考えや方法を振り返って吟味する

イメージを浮かべてみます。

「振り返る」は、【過去のことを頭に思い描いている】感じ です。

▪ S look back on A 「S は A を振り返る」

や、

▪ S reflect on A 「S は A を回想する」

などがいけるとおもいますが、今回は、

S remember A 「S は A を思い出す」

にします。

(2) S remember A

「吟味する」は、【うむう〜】となっている感じ です。

- S consider A 「SはAを考える」

でもいいですが、ここでは、

- S think about A 「SはAを考える」

を使います。【うむう〜】って感じでも、そのレベルが高いので、S think deeply about A を用意しておきます。

(3) S remember and think deeply about A

今選んだ2つの表現のAは共通して、「自分がそれまで持っていた考え方や生き方」を英語で表したものです。中心は

- ideas 「考え」

と

- ways 「方法」です。

(4) S remember and think deeply of ideas and ways

それぞれ修飾表現をつけていきます。

b. 自分のそれまで持っていた

まず、修飾する名詞を考えます。「持っていた」が修飾する表現は、一見「考え」だけですが、これが、「生き方」も修飾すると思いました。「振り返って吟味する」のはただの「生き方」ではなく、「それまでにしてきた生き方」です。なのでこの修飾表現が **ways** にもかかると判断しました。

「持っていた」を、

▪ S have A 「S は A を持っている」

にし、2つの名詞の後ろに置いた場合、**ideas** とのコロケーションは問題ないのですが。。**ways** との組み合わせが不自然であるということに気が付いてしまいました。

なので、「自分のそれまで持っていた」はバラバラに、**ideas** と **ways** に修飾させ、それぞれ修飾表現を作ることになります。

まず、**ideas** を修飾する関係詞です。述語から紐解きます。日本語を参考にするに「持っていた」です。

▪ S have A 「S は A を持つ」

を使います。【所有者】である **S** には「自分」に当たるものです。【一般人】に当たるので、引き続き **you** を使っていきます。「それまで」を参考に現在完了形にすると、次のようになります。

(5) **you have had A**

【所有する対象】である **A** には「考え」に当たるものです。先行詞と同じなので、ここを関係詞にします。関係詞はカタマリの前に置き、「それまで」を **so far** とし、カタマリの後ろに置きます。

(6) **which you have had so far**

次に、「自分のそれまで持っていた」を **ways** に関係詞節にして修飾させようと思ったのですが、そもそも、

▪ a way (S)(V) 「(S)(V)する方法」

という用法があります。これを使った方が便利そうです。なので、「生き」の部分をも(S)(V)の形で表現します。

「生き方」という日本語から、述語は **live** が入れます。S live 「S は生

きる」です。「生きている主体」である **S** は、【一般の人】なので、引き続き **you** が入ります。同じく「それまで」という日本語を参考に **you have lived so far** にします。

(7) **you have lived so far**

c. **a. + b.**

まず関係詞節である(5) **you have had A** を、先行詞である(4) **S remember and think deeply of ideas and ways** の **ideas** の後ろに置きます。

(8) **S remember and think deeply of ideas which you have had so far and ways**

そして、**ways (S)(V)**の**(S)(V)**に入れます。

(9) **S remember and think deeply about ideas which you have had so far and ways you have lived so far**

so far が2回出てきていて、読むときにはリズム感は出るのですが、書き言葉として、より簡潔にするために、一回目のほうを消して、うしろの **so far** が2つの述語、**have had** と **have lived** にかかっている感じにしました。

(10) **S remember and think deeply about ideas which you have had and ways you have lived so far**

(10)自体は **DO** に入れ込むので、**S** は放置しておきます。

(b) 自分の生き方を見直す

述語は日本語を参考にすると「うむむう」となっています。think が思いつきやすいですが、(10)で使っています。構文やいわゆる機能語などではなく、内容語は可能ならば繰り返さない方がいいという考え方もあるので、別の表現を探します。先ほど使わなかった、consider なんてどうでしょうか？

用法は、

▪ S consider A 「S は A を考える」

です。【考える対象】である A には日本語を参考にと **how to live** です。「直す」の部分から、【1 回ではとどまらない回数】やっぴいそうです。述語をいじって **reconsider** にすることも可能ですが、修飾語をつけ足して処理をすることもできます。その場合には **again** ですね。ここではこれを採用します。

(11) S consider how to live again

ところが、このままだと、**again** が **live** を修飾してそんな感じがします。なので、誤解が生じない位置に移動します。どこに置くと誤解が生じないのかは、ちょっと難しかったかもしれませんがね。

(12) S consider again how to live

ここで終わりにしてもいいのですが、ちょっと引かかった部分があります。考えているのは、「自分の生き方」というだけではなく、【よ

りレベルが高い方向の生き方】です。ここまでは表現しなくてもいいとは思いましたが、**better** を **live** の後ろにつけておきました。

(13) **S consider again how to live better**

(c) (a) + (b)

予定通り、(10) **S remember and think deeply about ideas which you have had and ways you have lived so far** と(13)を **and** で結びます。

(14) **S remember and think deeply about ideas which you have had and ways you have lived so far, and consider again how to live better**

consider の前にカンマをつけておきました。この **and** が直前の **have lived so far** ではなく、**remember and think** と **consider** が結ばれているというのを強調するためです。

C. A. + B.

(14)を(1) it is important to DO の DO に埋め込みます。

(15) it is important to remember and think deeply about ideas which you have had and ways you have lived so far, and consider again how to live better

最後に残った修飾表現の処理をします。

読書を通じて、

「通じて」から、

▪ through DOING 「DOING することを通して」

を発想します。DOING に reading を入れます。

(16) through reading

意味的には、to remember ~ live better を修飾しています。が、一番後ろに置くと、その直前だけを修飾しているように思われるので、to remember の前に置きます。

さらには、

▪ , what is more, 「さらに」

を consider の前に入れます。前後にカンマを置くのを忘れずに！

(17) It is important, through reading, to remember and think deeply

about ideas which you have had and ways you have lived so far, and, what is more, consider again how to live better.

Model Answer

It is important, through reading, to remember and think deeply about ideas you have had and ways you have lived so far, and, what is more, consider again how to live better.